

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

札幌にわっさむの元気情報を発信

vol 13



和寒町の情報を札幌市民に向け発信し、「自然の恵み野 和寒町」をPRするとともに、都市と農村の交流人口拡大を図ることを目的に札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送をおこなっています。放送日は毎月第4火曜日午後2時～2時30分（30分間）です。

■「月刊わっさむ」2月24日 第35回放送 農業活性化センター「農想塾」上西主任が出演

昨年7月に商標登録された「わっさむペポナッツ」について紹介しました。

「種を食べるカボチャ「ペポカボチャ」の中でも多くの種子ができるよう品種改良された「ストライプペポ」を使い、食用カボチャ種子のブランド化を進めてきました。種に多く含まれる亜鉛は、味覚障害の改善や育毛など、多くの効能があるとされています。また、現在は使っていない果肉についても、有効な利用ができるように研究を重ねていきたい。」と話されました。



■「月刊わっさむ」3月25日 第36回放送 わっさむジビエ研究会代表 窪田裕二さんが出演（電話中継）



平成24年度から活動を始めた「わっさむジビエ研究会」から、農産物に被害を与えるエゾシカ等の「やっかいもの」を「地域資源」に変えていこうという取り組みを紹介しました。

「鹿肉は、日本ではまだ食文化として定着していませんが、欧州などでは高級食材として食されており、食べ方を知ってほしい。主婦でも作れるような鹿肉料理を広めていきたいと思っています。

また、この放送終了後には角や皮などを利用した工芸品のセミナーが開かれます。今後も町おこしの一環として取り組んでいきたい。」と話されました。

■「月刊わっさむ」4月22日 第37回放送 和寒町観光協会会長 渡辺裕治さんが出演（電話中継）

5月9日開催の「第29回わっさむ三笠山夜桜まつり」と新たなイベント会場「ふれあいのもり」をPRしました。

「今年完成した新会場「ふれあいのもり」には、最大で600人余りを収容できる四阿（あずまや）を完備しており、夜桜まつりがこけら落としとなります。会場では座ってすぐに美味しいジンギスカンが食べられるよう、至れり尽くせりのサービスで皆さまをお迎えします。また、新進気鋭の歌手星野裕矢さんのステージショーやカラオケ大会、大抽選会もありますのでぜひお越しください。」と来町を呼びかけました。



◆放送を聴くためには

放送を見たり聴いたりするためには、三角山放送局のHP (<http://www.sankakuyama.co.jp>) でご覧になれます。また、過去の放送内容は、図書館で聴くことができます。

札幌市内（西区周辺地域）でラジオ番組を聴くには、周波数FM76.2MHzに合わせてください。

■番組のお問い合わせは 役場総務課まちづくり推進係（TEL32-2421）まで